

## 2 教育活動

### 1 学生の受入れ

#### (1) 学生募集の方法

学生部から全学一括で、学生募集要項及び入学者選抜に関する要項を県下各高等学校を中心に郵送配布しているとともに、学生係で希望者に対し直接又は郵送で配布している。

看護学科紹介パンフレット「岐阜大学医学部看護学科案内」を作成し、大学紹介(オープンキャンパス)参加者に配布している。

大学紹介(オープンキャンパス)において、看護学科長の概要説明並びに各講座の模擬実習等を実施、さらに、より効果的な紹介とするため、参加者からアンケートをとって教務厚生委員会看護学科委員会における計画立案の参考としている。

全看護学科教官が直接岐阜県を中心とする高等学校を訪問し、進路指導担当の先生と看護学科紹介及び情報交換を実施している。

その他、私塾主催の入試説明会にも教官を派遣し積極的に取り組んでいる。

#### (2) 入学者選抜の方法と方針

看護学生に望ましい学生を入学させるため、入学者の選抜について研究を重ね、入試教科・科目の選定を行っている。

看護学科では設置後間もないため、これまでに入学試験を実施したのは平成13、14、15年度の3年間のみである。現在これまで実施してきた入試方法と在校生の成績との関係について検討をしているところである。

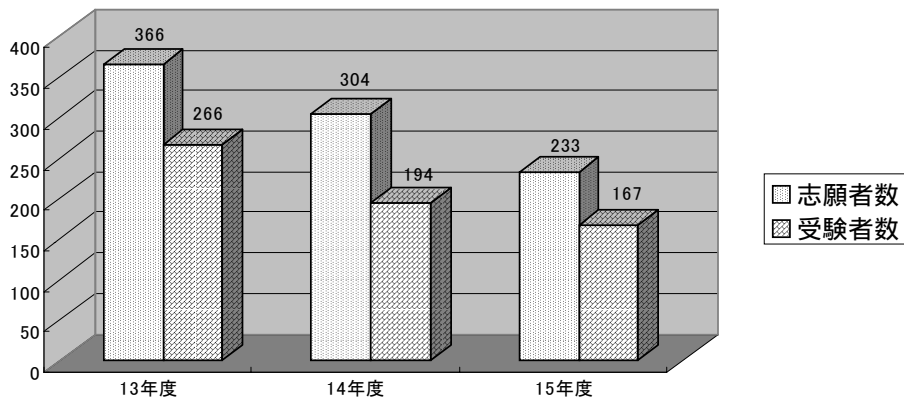
なお、平成15年度に第1回の3年次編入学試験を実施し、10名を受け入れた。

#### (3) 学生の受入れ状況

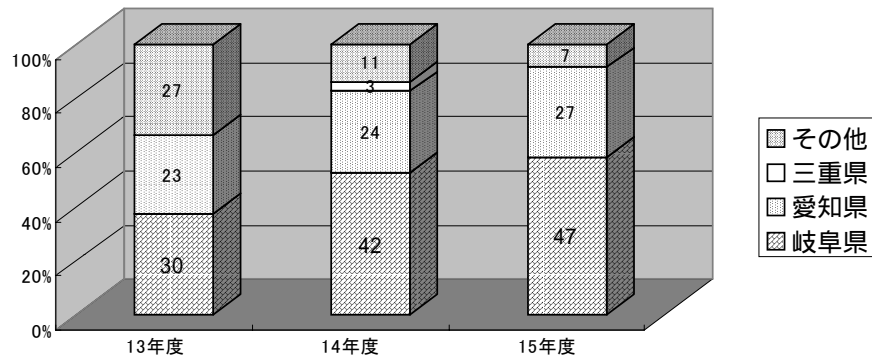
学生定員充足状況：3年間の入学(志願者・入学者)に関する状況は下表のとおりである。

区 分		志願者数	受験者数	入学者	県別内訳			
					岐阜県	愛知県	三重県	その他
平成13年度	男	16	12	1		1		
	女	350	254	79	30	22		27
	計	366	266	80	30	23		27
14年度	男	13	4	2	1	1		
	女	291	195	78	41	23	3	11
	計	304	194	80	42	24	3	11
15年度	男	13	13	5	2	2		1
	女	220	154	76	45	25		6
	計	233	167	81	47	27		7

年度別受験者・志願者状況



入学者出身県別内訳



(4) 編入学制度と実態

看護学科では、すでに看護に関する学科あるいは課程において学習してきた学生を対象に、編入学（第3年次）による学生の受け入れ制度を設けている。

看護学科は平成12年10月に設置されたため、平成15年度に初めて編入学生を受け入れた。編入学（志願者・入学者）に関する状況は下表のとおりである。

区分		志願者数	受験者数	入学者
平成15年度	男	1	1	0
	女	66	56	10
	計	67	57	10

(5) 研究生の受け入れと実態

学則において研究生の受け入れ制度を設けているが、看護学科では実績はない。

## 2 カリキュラム

### (1) カリキュラムの編成方針

カリキュラムの基本的な編成方針は次のような視点に立っている。

教養教育と専門教育の有機的連携によって、「健康」を視座とした統合カリキュラムを導入している。

カリキュラムの編成にあたっては、「看護」は「人間」と「健康」、および「環境」に関わる実践活動ととらえ、他の医療従事者と協調して看護実践を行う能力を育成するための科目を設置する。

豊かな人間性と幅広い知識を持った人材を育成するために、地域科学部および教育学部の開講科目を積極的に取り入れ、幅広い専門教育を実施する。

医療が高度化、複雑化する中で、医療人として社会のニーズに応えていくためには、豊かな感性と深い倫理観に裏付けられた人間性を培い、専門的知識・技術と実践力を備え、医療・福祉・保健が連携した良質できめ細かな援助サービスを提供し、チーム医療等における認識・知識を深めることが重要であることから、医学科との合同講義、合同実習を取り入れ、全人的医療、総合的医療を担うための人材を育成する。

多様な価値観が存在する社会、刻々と変化する社会で生活する人々に柔軟に対応し、地域、在宅ケアを実践していくことができるよう、テュートリアル教育を導入し、主体的に学習する能力、統合能力、対人技能、批判的思考などが修得できるようにする。

あらゆる健康レベルの人々へ一貫した看護が展開できるように、実習の場として、先端医療を提供する附属病院での実習をはじめとして、在宅を含め、地域と密着した医療施設や保健施設等での保健・医療・福祉の統合を図った実習を行う。

### (2) 教育活動の実施内容と方法

岐阜大学医学部看護学科は、資質の高い看護職の育成をめざし、「人間」、「健康」、「環境」、「看護」という4つの看護の構成概念に沿って編成されたカリキュラムを展開している。大学全体の2期 Semester 制導入に伴い、カリキュラムの一部修正を行ったが、まだ開学3年目に入ったところであり、全学共通教育と一部の専門科目、そして基礎看護学実習を修了したばかりの段階である。授業の実施に当たっては、コンピュータ、ビデオ等の学習に効果的な教育機器の積極的活用を図るとともに、学生の自主的利用を推進し、教育の効率化を考慮している。学内での演習では、できるだけ個々の学生が一つ一つの技術を体験できるよう配慮して進められている。テュートリアル教育も、「生活行動からみる身体」と「成人・老年事例展開」の2つのコースが修了、進行中である。実習については、基礎看護実習の評価を進めるとともに、各分野の臨地実習の開始を目前として、臨地実習場所との綿密な協議が実施されている。

### (3) 課題と展望

学年進行中であり、まだ評価の段階には至っていない。厚生労働省の「看護基礎教育における技術教育のあり方に関する検討会」の報告では、学習途上にある学生が行う看護技術実習の範囲や機会が限定されていること、身体への侵襲性が高い看護技術については、臨地実習の際に、学生が実施できる機会が少なくなっていること、そして、卒業直後の看護師の技術能力と臨床現場が期待している能力との間の乖離が大きくなっていること等があげられている。また、「新たな看護のあり方

に関する検討会」の報告でも、看護師として学ぶべき知識・技術の増大とあわせて、看護師の資質の向上が求められていることから、看護基礎教育の内容の充実等が望まれている。岐阜大学医学部看護学科のカリキュラムにおいても、少子高齢化の進展、医療技術の進歩、国民の意識の変化、看護教育水準の向上など時代の要請に応えて、教育内容、教授方法について検討が必要と考えている。なお、現在、カリキュラム委員会を作り、検討に入っている。

### 3 教育方針

#### (1) 教育改革

現在、学年進行中であり、開設時に準備された教育課程の3年次までを実施している。完成年次を終了してからのカリキュラムについて、現在カリキュラム委員会を組織し検討を重ねている。カリキュラム改革にあたっては、平成17年度開設予定の大学院（修士課程）との関連を考慮した内容にしていく。

看護学の教育改革については、平成13年6月から「大学における看護学教育の在り方に関する検討会」が文部科学省、日本看護系大学教育協議会において開催され、大学における看護人材の育成目標を受け、平成14年3月に大学における看護実践能力の育成の充実を方向性とする報告書が出されている。検討会では、コアカリキュラムの在り方、臨地実習について検討されたが、看護学の教育内容のコアである技術学習項目と臨地実習指導体制が報告され、各大学が状況にあわせて取り組むこととなっている。本学科においても今後、看護実践能力の育成をカリキュラムに反映することが課題となる。

#### (2) 全学共通教育

大学では、専門について深く学ぶとともに、教養を学ぶことが必要である。この目的を達成するため、4年一貫教育体制のもとに、教養教育と専門教育を並行して行っている。教養科目については、全学体制のもとに全学共通教育として進められている。

全学共通教育の最低修得単位数

科 目 区 分		卒業要件修得単位数	
教 養 セ ミ ナ ー		2 単 位	
ジャンル別科目	人文科学系科目	2 単位以上	計 12 単 位
	社会科学系科目	2 単位以上	
	自然科学系科目	2 単位以上	
	総 合 科 目	4 単位以上	
	スポーツ・健康科学	2 単位以上	
外 国 語 演 習		6 単 位	
合 計		20 単 位	

全学共通教育の開講時間枠

1 年次前学期

曜日 時限	1	2	3	4	5
月					
火					
水					
木					
金					

1 年次後学期

曜日 時限	1	2	3	4	5
月					
火					
水					
木					
金					

：全学共通教育の開講時間枠  
 空白：専門教育の開講枠

(3) 専門教育

テュートリアル教育

専門教育の3講座で1グループ10人の8グループでテュートリアル教育を実施している。

基礎看護学では、「生活行動から見る身体」を1年次後期・2年次前期，成人・老年看護学では「成人・老年事例展開」を2年次後期・3年次前期に授業科目ごとに提示された事例について主体的に学習を進めている。地域・精神看護学では「地域における健康問題と援助」を4年次前期・後期に開講予定である。看護学科は，平成15年3月に総合研究棟が完成し，セミナー室が確保されたことから学習環境が整備されつつあるが，教材や図書，コンピュータなどの充実が今後の課題である。

臨床実習

看護学科のカリキュラムでは，卒業要件単位数（124単位以上）のうち約20%が臨地実習の必修単位数（25単位）である。専門教育である臨地実習は，1年次から4年次にわたり配置され，その位置づけは大きく重要な科目である。そこで看護学科では，資質の高い看護職を育成する上で欠かすことのできない臨地実習の教育効果をあげるために，平成14年から実習委員会を設置し，これまでに次のような活動を行った。

- ・ 臨地実習協議会の設置と開催
- ・ 臨地実習指導者会議の設置と開催
- ・ 臨地実習要項の作成
- ・ 年度毎の臨地実習計画表の作成及び医学科，臨地実習施設との調整
- ・ 臨地実習に伴う感染予防対策の実施要領の作成と実施
- ・ 看護学科における臨地実習時の事故発生対処マニュアルの作成
- ・ 臨地実習場の実習環境の調査の実施
- ・ 臨地実習に伴う予算に関する検討
- ・ 岐阜大学医学部附属病院の建物新嘗に伴う看護学科学学生更衣室，学生個別相談室設置の検討

今までの2年間は1年生の初期体験実習のみであったが，今年度からは基礎看護学実習をはじめ他の分野別実習が本格的に開始される。看護専門職として安全で適確に看護を実践できる能力が求められている現在，実践能力育成のために臨地実習の果たす役割は大きい。そのため看護学科では，実践能力育成に向けての教育方法，教育内容を検討していくことが今後の課題である。

(4) 他大学における授業科目の履修方針と状況

学則第 45 条の規定「教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生に当該他大学等の授業科目を履修させることができる。」とあるが、専門科目についての実績はない。

(5) 在籍，留年，休学，退学の状況

過去 2 年間の状況は次表のとおりである。

区 分	在 籍	留 年	休 学	退学（除籍を含む。）
平成 13 年度	80		1	1
14 年度	159	1	1	

(6) 教育施設・設備の現状

区 分	面 積	用 途	設 備
本館 1 階 講義室 1	134 m <sup>2</sup>	講 義	ビデオ投影装置，マイク設備，スライドプロジェクター，資料提示装置
本館 3 階 講義室 2	105 m <sup>2</sup>	"	ビデオ投影装置，マイク設備，スライドプロジェクター，資料提示装置
本館 3 階 講義室 3	111 m <sup>2</sup>	"	ビデオ投影装置，マイク設備，スライドプロジェクター，資料提示装置
本館 5 階 講義室 4	68 m <sup>2</sup>	"	
新棟 1 階 セミナー室	9 室 26 m <sup>2</sup> ~ 47 m <sup>2</sup>	テュートリアル教育 初期体験実習	
新棟 3 階 セミナー室	4 室 23 m <sup>2</sup> ~ 24 m <sup>2</sup>	テュートリアル教育 初期体験実習	
本館 2 階 基礎看護実習室 1	258 m <sup>2</sup>	基礎看護実習	ビデオ投影装置，マイク設備，資料提示装置，ガス乾燥機
本館 2 階 老年在宅実習室	92 m <sup>2</sup>	老年在宅実習	
新棟 2 階 成人看護実習室 1	23 m <sup>2</sup>	成人看護実習	
新棟 2 階 成人看護実習室 2	106 m <sup>2</sup>	成人看護実習	
新棟 2 階 成人看護実習室 3	26 m <sup>2</sup>	成人看護実習	
新棟 2 階 基礎看護実習室 2	47 m <sup>2</sup>	基礎看護実習	ビデオ投影装置，マイク設備，資料提示装置
新棟 3 階 地域看護実習室	94 m <sup>2</sup>	地域看護実習	
新棟 3 階 精神看護実習室 1	53 m <sup>2</sup>	精神看護実習	
新棟 3 階 精神看護実習室 2	26 m <sup>2</sup>	精神看護実習	
本館 4 階 理化学実習室	90 m <sup>2</sup>	理化学実習	
本館 4 階 情報処理実習室	90 m <sup>2</sup>	情報処理実習	パソコン（20 台）
新棟 4 階 母性・小児看護実習室 1	147 m <sup>2</sup>	母性・小児看護実習	
新棟 4 階 母性・小児看護実習室 2	26 m <sup>2</sup>	母性・小児看護実習	
新棟 4 階 助産学実習室	93 m <sup>2</sup>	助産学実習	

(7) 成績の評価，認定の基準

成績は，試験等の結果を総合して以下の区分で評価する。

優（100点～80点）合格

良（79点～70点）合格

可（69点～60点）合格

不可（60点未満）不合格

病気その他正当な理由により定期試験を受けられなかった者について，願い出により追試験を受けることができる。定期試験及び追試験に不合格となった者について，1回に限り再試験を受けることができる。

(8) 看護師国家試験合格状況

卒業生が出ていないため国家試験受験者はいない。

#### 4 学生生活への配慮

(1) 奨学金の種類と採択状況

過去2年間のデータは次表のとおりである。

区 分	日本育英会奨学金				その他の奨学金	
	第1種		きぼう21			
	申請者数	採用者数	申請者数	採用者数	申請者数	採用者数
平成13年度	8	1	11	4		
14年度	11	4	11	7	2	2

(2) 授業料の免除の状況

過去2年間の状況は下表のとおりである。

区 分	在籍者数	前学期			後学期		
		申請	免除		申請	免除	
			全額	半額		全額	半額
平成13年度	156	5	3	1	3	2	
14年度	242	12	8		11	8	

(3) 学生生活相談の体制と実態

学生の個人的な生活に関する相談については，学生係が窓口として対応している。

個人的相談については定められた担当教官が応じ，講座レベルでの指導事項などについては当該講座の教官により対応し，総合的には教務厚生委員会看護学科委員会において対応している。

(4) 課外活動の実態

看護学科で許可している学生団体は存在しないが，岐阜大学学生生活委員会の認める体育系および文科系サークル，また岐阜大学医学部教務厚生委員会の認める医学部体育系および文科系サークルに所属し活動する学生は少なくない。

キャンパスライフが有意義で、健全なものとなるように課外活動を行う学生数の実態は次表のとおりで学年進行とともに増加している。

区 分	全学サークル		医学部サークル	
	体育系	文化系	体育系	文化系
平成 13 年度	-	-	3 (2)	0
14 年度	21	12	11 (7)	2

- 1 各年度の4月1日付けの部員数であり、新入部員数は含まない。
- 2 平成13年度の全学サークル所属状況は未調査である。
- 3 ( )内は、奥穂高岳診療所クラブ部員数(外数)で、7月時点での部員数である。